

# 実社会と連続性を有するコミュニケーション能力 の学修のためのプログラムの開発と評価

人間文化学部 人間文化学科  
准教授 平野 美保

研究種目： 基盤研究(C)  
研究期間： 2016年度～2020年度  
研究分野： 教育工学



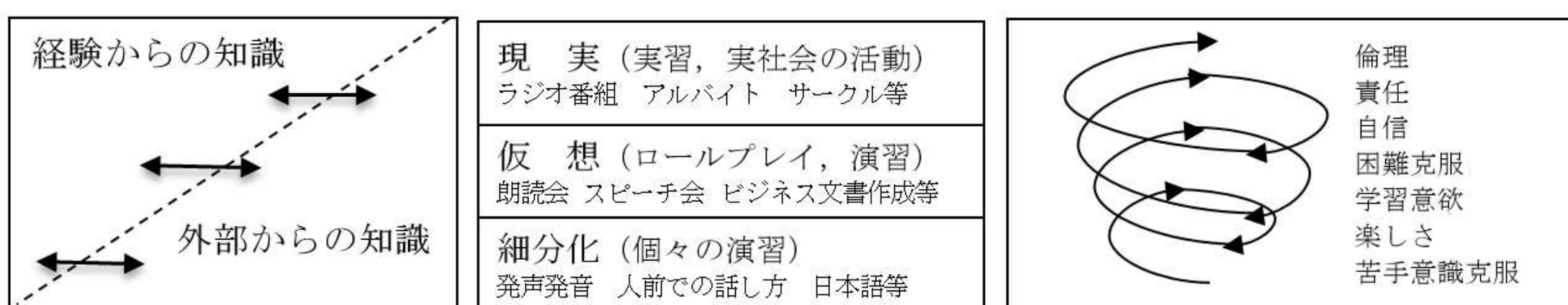
本研究は、実社会と連続性を有するコミュニケーション能力の学修プログラムを開発し評価することを目的とする。そのために次の3点を本研究の課題とする。



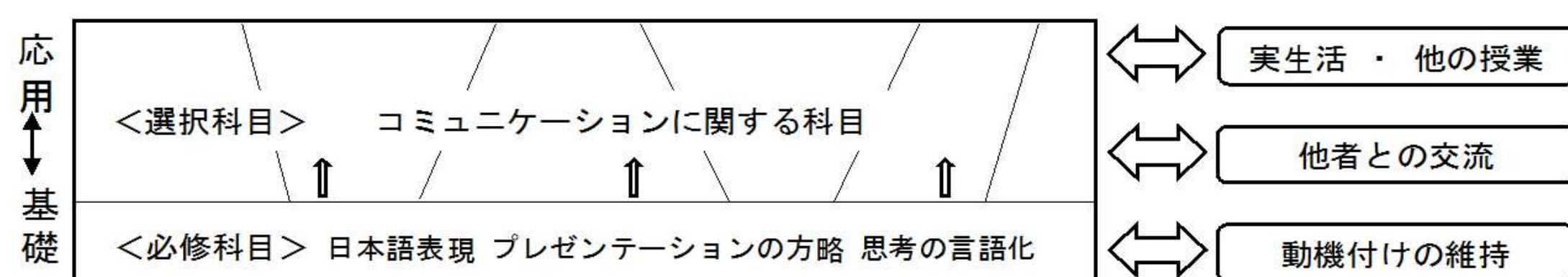
i) 実社会を視野に入れたコミュニケーションに関する学修プログラムの設計。ii) 学修プログラム内の各授業の効果の検証。iii) 本学修プログラムの、就職行動と就業行動への効果の検証。本研究を通して、実社会での効果についても視野に入れた学修の効果が検討された一つの教育方法を提供できると考えている。

## 主な著書

- ・「大学生の音声に関する意識と行動—音声表現訓練の効果における社会人との比較を通して—」『名古屋大学大学院教育発達科学研究科紀要(教育科学)』54(2) 2008年3月
- ・「パラ言語スキルに焦点化した音声行動学習プログラムの開発と評価—職業生活に向けたコミュニケーションスキル獲得の支援のために—」『日本教育工学会論文誌』34(1) 2010年6月
- ・「パラ言語スキル育成のための音声行動学習プログラムの開発—大学生への試行結果に即して—」名古屋大学大学院教育発達科学研究科(博士論文) 2012年2月
- ・「パラ言語スキルに焦点化した話し方個別学習教材の評価」『生涯学習・キャリア教育研究』11 2015年3月
- ・「大学におけるキャリア教育の実践と課題—アクティブラーニングによるコミュニケーションスキルの育成—」『職業とキャリアの教育学』21 2016年2月



<知識>相互作用モデル <技能>三層積み重ねモデル <態度>スパイラルモデル  
学修プログラムの3つのモデル



学修プログラムの全体像